

津久戸小・江戸川小統合等検討協議会だより



平成 22 年 11 月 16 日（火）に江戸川小学校において『第 4 回津久戸小学校・江戸川小学校統合等検討協議会』が開催されました。〔出席委員：12 名 / 欠席委員：1 名、傍聴者：22 名〕

協議会では、（１）協議会設置に至る経緯と現状について（２）適正配置の現状と課題について（３）次回以降の議題及び委員以外の方の出席について（４）その他の事項として、東五軒町保育園からの委員選出について、協議会の告知について、傍聴者の意見について、協議が行われました。協議の内容については、下記のとおりです。

協議会設置に至る経緯と現状について・適正配置の現状と課題について

「協議会設置に至る経緯と現状について」PTA による説明がありました。

事務局より、追加資料の説明がありました。

これまでの説明を踏まえて、「適正配置の現状と課題について」の議論に移りました。

【主な質疑】

- ・学校選択制において、通学区域の学校を選択しない理由は何か。
（事務局）個別の学校については分からないが、全体の傾向として、友人・兄弟関係、通学の距離・安全、学校規模が大きい、などの理由で学校選択がされている。
- ・学校間に児童数の差が生じたことに対し、教育委員会はいままで何か策を講じてきたのか。
（事務局）例えば、学校規模に関わらず、すべての学校に対し「確かな学力推進員」（区費講師）を配置しているため、相対的に小規模の学校は教職員の配置が手厚くなっている。

【主な意見】

- ・地域の学校を選んでもらうために、就学前プログラムを学校選択の前に実施したら良いのではないか。
- ・学校選択制で現在 3 クラス募集をしている学校を 2 クラス募集にすれば、児童数の偏りが緩和されるのではないか。
- ・標準規模である 360 名の規模は、津久戸小も江戸川小も物理的に収容できるが、校舎の大きさを考えると教育環境として良いのかと思う。学校間の児童数の差をなくし、いまある学校を最大限活用して各校を複数学級にすることができれば、それもひとつの方策となるのではないか。
- ・いままでの例から、統合合意から新校舎使用開始まで 5 年と考えると、仮校舎や新校舎の時期の児童数や学級数の推計を想定しながら統合についての検討を進めたほうが良いのではないか。

次回以降の議題について・委員以外の方の出席について

次回は、下記の 2 名の方にご出席いただきます。

● 山本由美 氏（和光大学現代人間学部心理教育学科教授）

● 菅野真也 氏（前 新宿区立小学校 P T A 連合会会長、現 同顧問）

今回の議題は、『適正配置の現状と課題について』『学校選択制の現状と課題について』等です。

次回は、上記 2 名の方にお話しいただき、質疑応答を行います。その後、今回に引き続き「適正配置の現状と課題について」協議し、さらに今回多くの議論があった「学校選択制の現状と課題について」協議することになりました。

また、次回以降は、統合する場合と統合しない場合について、項目別（児童・学校・地域・施設など）に課題等を整理し、議論していくことになりました。

その他の事項について

前回のPTAからの意見について、以下のとおり協議が行われました。

東五軒町保育園からの委員選出について

東五軒町保育園から代表をどのように選出するかについて、その選出方法を今後事務局が検討し、1月の協議会に進捗状況を報告することになりました。

協議会の告知について

事務局より、学区域内の町会長あてに回覧用の協議会だよりを配付したこと、笹笠地区町連にて進捗状況を説明したこと、および榎地区町連にも同様の説明に伺う予定であることを報告しました。

傍聴者の意見について

傍聴者に配布する当日の次第に、次回の日程について記載し、さらに次回の議題が決まっている場合には議題も記載するということになりました。

☺ 第5回統合等検討協議会のお知らせ

☆ 日時 平成22年12月16日(木) 午後6時30分～8時30分

☆ 会場 江戸川小学校 3階 ランチルーム

変更が生じる場合があります。下記ホームページもご確認ください。

傍聴を希望する方は直接会場においでください。

【事務局】 新宿区教育委員会事務局 教育施設課 学校適正配置担当

〒164-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 TEL:03-5273-3107 FAX:03-5273-3510

【ホームページ】 http://www.city.shinjuku.lg.jp/kodomo/index04_0406_03u.html

牛込地区学校適正配置に関するお知らせ等を掲載しています